

アクトリン

(木部修復剤)

木部修復基本工程

●用意する道具（作業1人分）

- ・アクトリン ……………1本
- ・ポリ容器（1～3リットル）……………1個
- ・化学繊維100%の刷毛 ……………1本
 - ※ナイロンやポリエステル等、化学繊維100%の刷毛を使用して下さい。
 - ※獣毛が混じっている刷毛の使用は避けてください。（液成分と反応し泡状になり効果をおとします。）
- ・ゴム手袋又は、ビニール手袋 ……1双
- ・ウエス ……………相当数
- ・マスキングテープ ……………相当数
 - ※室内での作業の時、昼等必要に応じて養生して下さい。
- ・防毒マスク……………1個
 - ※作業中多少臭いがしますので、臭いの気になる方はマスクの着用をお勧めします。
 - 尚、作業が終了し乾燥すると臭いは消えます。
- ・保護メガネ……………1個

●作業前の準備

- ゴム手袋、保護メガネ、必要に応じて防毒マスクを着用し作業に掛かって下さい。
- 木部の上にクリアー仕上げされているもの（防腐剤、ニス、ワックス等）は剥離剤等ですべて落としておいて下さい。
- 室内での作業については換気をよくし、マスキングテープにて養生をして下さい。
- アクトリンを汚れに応じて原液もしくは2倍～3倍に希釈して使用して下さい。
- 目立たない部分に、アクトリンを刷毛で少量塗布し、効果の確認をした上で施行して下さい。

●作業手順

- ①ゴム手袋を着用し作業に掛かって下さい。
- ②アクトリンを乾燥した木部に均一に刷毛で撫でる様に塗布して下さい。
- ③5～10分後カビが消えたら、浮き上がった汚れやあくを濡れた布ウエスで拭き取って下さい。
- ④古い木もしくは汚れのひどい木で1回で汚れが落ちない場合は、繰り返しこの作業を行って下さい。
その場合木の乾燥を待たずに作業できますが、乾燥後の仕上がりは作業終了時点より30%程度白さが増す事があるので塗り過ぎには注意して下さい。但し、室内の木で築年数経過した木は、手垢やタバコのヤニ、油等が回りを覆っている事が多いので、アクトリンを塗布した後、スコッチ等で木目に沿ってブラッシングをした上で、更にもう1度アクトリンを塗布して下さい。
- ⑤アクトリンで落とすきれないシミや効果に満足いかない場合は、アクトリンが充分乾いたところで、2～3倍で希釈したトレールンFを刷毛で塗布して下さい。（アクトリンが乾かない前のトレールンFの塗り重ね、アクトリンに使用した刷毛でのトレールンFの使用は絶対にしないで下さい）
※塗装する場合は、洗浄・乾燥後そのまま行う事が出来ます。

アクトリン

施工方法

●木部扉洗浄……使用液剤：アクトリン **トレ〜ルンF**

①木部全体を、濡れたウエスで汚れを充分拭き取る。



②扉手すり、小窓ガラスをマスキング等で養生する。
アクトリンを化学繊維100%の刷毛で木目によって塗布する。



③木部全体を、汚れによって1〜3回塗布する、塗布後ウエスでアクを拭き取る。



◎雨染み等がある場合

④乾燥後 **トレ〜ルンF** を2〜3倍に希釈し化学繊維100%の刷毛で塗布する。

⑤まんべんなく塗布後、乾燥させる。



アクトリン

使用例

●あく洗い比較

他社あく洗い後



当社施工後



アクトリン
アクトリンA
アクトリンO
アクトリンF

アクトリン

使用例

●木部



アウトリン

使用例

●木部



アクトリン

使用例

●木部

施工前



施工後

